



コンセプトチャルスキル/ 1日研修 ・半日研修

Revised

インバスケッ

職員の能力を可視化するトレーニング

➤ 本研修の概要とねらい

- ①見えにくく、測りにくい「能力」を可視化する事により、自分の強み・弱みを把握することができる。
- ②物事の優先順位設定能力を向上させる効果があります。
- ③自分の傾向値の他に、他者とのディスカッションを通じて視野を広げる効果があります。
- ④専門的なアセスメント診断にて、より自分の傾向を把握しマネジメントに生かせる効果があります。

インバスケッとは、

ある架空の企業のリーダーやメンバーになり、制限時間内に大量の案件を処理する研修です。

その際には、ビジネスをする上で必要な能力を総合的に見ることができ、研修では各能力の向上を図ることができます。

特に、ビジネスパーソンが苦手といわれている問題を見極める力、案件の包括的な進め方、上司・同僚への指示の仕方、明確に決断する力を総合的に高めることが狙いです。

究極のアウトプット型研修です。

➤ 主なコンテンツ

インバスケッの概要説明と演習、インバスケッ演習のグループ共有、グループ演習「優先順位の決定」・「案件処理」、目標設定 など(詳細は裏面のタイムテーブルをご参照ください)。

➤ 受講対象(推奨)

新入社員～管理職 (最大24名)

➤ 講師からの一言

インターネット全盛の情報化社会の中で、インプット型で覚える研修では無く、自分の中で「気づき」を得るアウトプット型研修が主流になってきてます。膨大な情報の中からいち早く優先順位をつけて、最適な対応を取れる能力が求められています。今の時代のニーズにマッチしたインバスケッ研修が、今脚光を浴びています。



一般社団法人 日本経営協会講師
五月女 尚(そうとめ たかし)

コールセンター運営・管理、人事部役員、経営幹部として現場の課題解決から経営まで幅広く従事。

社内講師として新入社員・管理職層に対し年間30以上の登壇経験を持つ。前職では研修・コンサルタント事業の執行役員兼シニアコンサルタントとして年間30以上の登壇。

得意分野のコールセンターにおいてはシンガポールにあるコールセンター専門学校「NSRSコールセンターアカデミー」でのマスター資格を習得している。

本講師の他の研修

- a. リーダーシップ
- b. プレゼンテーション
- c. ファシリテーション
- d. インバスケッ

インバスケ

1日研修タイムテーブル案

講義テーマ	主なコンテンツ
1. インバスケの概要説明と演習 (1)インバスケ演習の目的や注意点の説明 (2)インバスケ研修の実施(60分) ～60分に20案件の処理する～	☞限られた時間・ストレスのかかった状態で、どのように案件を判断するかを見極める
2. インバスケ演習のグループの共有 (1)グループ毎の優先順位の発表 (2)理由づけの発表 (3)重要度と優先順位の説明	☞グループごとにどうしてその優先順位になったのか説明をする。ほかのグループの説明を聞くことで、何に重きを置いているのか、また、何に重きを置くべきなのかを考える。
昼食休憩	
3. グループ演習「優先順位の決定」 (1)演習案件の中で優先度の高い案件の決定 (2)各グループ発表	☞チームでディスカッションすることで、各人の優先度・重要度の違いを体感する。
4. グループ演習「案件処理の深掘り」 (1)特定案件の深掘り処理 (2)グループワークで作成した処理内容の発表 (3)各グループの発表の振り返り	☞共通の特定案件を実際に処理・整理することで発揮できている能力と、不足している能力を把握する。
5. 目標設定「今後高めたい自身の能力」 (1)セルフチェック、今後の目標設定を行う (2)各自発表	☞研修を振り返り、今後の業務遂行にあたって自分とはどんな能力を高めるべきか振り返る。
まとめ	

■本研修を受講した研修生の感想

☞時間の中、優先順位を考えながら判断する演習は、とても実践的で、ほかの受講者の考え方にもたくさん触れられたのがとてもよかったです。

■本研修コーディネーターからのワンポイントメッセージ

☞講義よりも、実践と体感してもらうワークをふんだんに盛り込んでいます。

☞アウトプット型の代表格の研修。日頃気づけない「気づき」を得るには最適な研修です。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319
URL <http://www.noma.or.jp>